

令和3年度 公共事業再評価調査

(区分) 国補 ・ 県単

1. 事業説明シート

事業名	農地環境整備事業（国補）		事業箇所	南アルプス市下宮地～平岡	地区名	南アルプス西部	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	⑤これまでの評価状況（平成24年度事前評価）					
	H25～H30	H25～R5	（平成24年度事前評価） 本事業により生産基盤の遅れに伴う生産効率の低下や鳥獣被害等による農地の遊休化の防止、担い手への農地集積等が期待できることから、実施が妥当である。					
総事業費	1,100 百万円	1,425 百万円	1,940 百万円	(2) 評価項目【事業を巡る社会経済情勢等の変化】 （今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）				
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果								
<p>本地区は、甲府盆地西部南アルプス市内の中山間地域に位置し、傾斜地特有の棚田による水稲栽培や水はけの良さを活かした果樹栽培など多様な農業が行われている。</p> <p>しかしながら、地区内は未整備の農道や水路、狭小な農地が多いことから作業効率が悪くそれに加え、近年はサル、シカ等の野生獣による農作物被害、耕作放棄地の増加などの課題も抱えている。</p> <p>このため、用排水路や農道、区画整理等の基盤整備を総合的に行うことで営農環境を改善し、耕作放棄地の解消や担い手への農地集積を推進する。</p>								
<p>□主要目標 ○中山間地域等の農村生活・生産機能の向上 ・農業所得増加額 1,757千円>1,322千円※（※評価基準値）</p> <p>□副次目標 ○農業用排水能力の向上 ○集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上</p> <p>□副次効果 ○遊休農地の解消 ○果樹園景観の保全 ○重要プロジェクトとしての位置づけ（やまなし農業基本計画）</p>								
②事業概要								
		現計画	→	変更計画				
	用排水路	L=5,148m		L=4,640m				
	農道	L=2,677m		L=2,655m				
	区画整理	A=19.8ha		A=19.8ha				
	鳥獣害防止施設	L=6,640m		L=6,640m				
③全体計画								
		令和2年度まで		令和3年度 （評価実施年度）		令和4年度以降		
現計画	工事内容	用排水路L=2,777m 農道 L=1,205m 区画整理 A=14.0ha 鳥獣害防止施設L=4,251m		用排水路L=737m 農道 L=386m		用排水路L=1,634m 農道 L=1,086m 区画整理 A=5.8ha 鳥獣害防止施設L=2,389m		
		事業費	1,205 百万円	150 百万円	70 百万円			
変更計画	工事内容	用排水路L=2,777m 農道 L=1,205m 区画整理 A=14.0ha 鳥獣害防止施設L=4,251m		用排水路L=737m 農道 L=386m		用排水路L=1,126m 農道 L=1,064m 区画整理 A=5.8ha 鳥獣害防止施設L=2,389m		
		事業費	1,205 百万円	150 百万円	585 百万円			
④特記事項（関連事業概要等）								
なし								
(3) 評価項目【評価時点の費用対効果分析】								
	項目	着手時点	変更計画時点					
	総事業費	1,100 百万円	1,940 百万円					
	工期	H25 ~ H30	H25 ~ R8					
経済効率性	費用	評価基準年	H25	R3				
		建設費	1,490 百万円	2,547 百万円				
		維持管理費	百万円	百万円				
		その他()	百万円	百万円				
		便益	2,630 百万円	3,607 百万円				
	作物生産効果	970 百万円	1,486 百万円					
	走行経費節減効果	390 百万円	858 百万円					
	品質向上効果	330 百万円	546 百万円					
	その他※	940 百万円	717 百万円					
		B/C	1.8	1.4				

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、営農経費節減効果、維持管理費節減効果、一般交通等経費節減効果、国産農産物安定供給効果

2. 評価シート

<p>(4) 評価項目【これまでの計画変更等の概要】</p> <p>区画整理(中野2工区)について、新規参入者を視野に入れたほ場の大区画化に伴う換地計画の調整及び工事に期間を要したため、計画期間を5年間延長した。また、ほ場の大区画化に伴い切盛土量の見直しを行い、事業費が増となった。</p> <table style="width:100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>当初</td> <td>→</td> <td>現計画</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>1,100百万円</td> <td></td> <td>1,425百万円</td> </tr> <tr> <td>計画期間</td> <td>5年延長</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		当初	→	現計画	総事業費	1,100百万円		1,425百万円	計画期間	5年延長			<p>④事業期間の変更理由及び進捗予定</p> <p>区画整理において、換地計画に関わる地権者との調整に期間を要したが、合意が得られたことから計画的かつ効率的な実施に努め、工期を3年間延長し、令和8年度の完成を目指す。</p>					
	当初	→	現計画															
総事業費	1,100百万円		1,425百万円															
計画期間	5年延長																	
<p>(5) 評価項目【事業進捗状況及び見込み】</p> <p>①進捗率 R3年度進捗率（現計画）96.5%→（実績）95.1%→（変更計画）69.9% 詳細は別表のとおり。</p> <p>②進捗率実績が計画と相違している理由 区画整理にあたり、換地計画に関する地権者との調整や新たな作物栽培に適した区画形状とするための設計検討に日数を要したことによる。</p> <p>③総事業費の変更内容</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>変更工種等</th> <th>事業費増減</th> <th>変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">用排水路工</td> <td style="text-align: center;">209百万円の増</td> <td>既設石積みにはらみ出し等の不安定箇所が見られたことから、崩落を防止するため、土留め構造物が必要となった。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">16百万円の減</td> <td>詳細検討の結果、既設水路を利用することとしたため、整備延長が減となった。</td> </tr> <tr> <td>農道工</td> <td style="text-align: center;">167百万円の増</td> <td>既設農道は、屈曲箇所が多く一部区間では崩落も発生していたことから、安全性の確保や表土の流出を防止するため、土留め、路側構造物が必要となった。</td> </tr> <tr> <td>区画整理工</td> <td style="text-align: center;">155百万円の増</td> <td>中野1工区について、2工区同様、担い手の新規参入や新たな作物栽培に適した区画形状を検討した結果、造成土量等が増となったため。</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">515百万円の増</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	変更工種等	事業費増減	変更理由	用排水路工	209百万円の増	既設石積みにはらみ出し等の不安定箇所が見られたことから、崩落を防止するため、土留め構造物が必要となった。	16百万円の減	詳細検討の結果、既設水路を利用することとしたため、整備延長が減となった。	農道工	167百万円の増	既設農道は、屈曲箇所が多く一部区間では崩落も発生していたことから、安全性の確保や表土の流出を防止するため、土留め、路側構造物が必要となった。	区画整理工	155百万円の増	中野1工区について、2工区同様、担い手の新規参入や新たな作物栽培に適した区画形状を検討した結果、造成土量等が増となったため。	合計	515百万円の増		<p>⑤今後の事業執行における留意点 なし</p>
変更工種等	事業費増減	変更理由																
用排水路工	209百万円の増	既設石積みにはらみ出し等の不安定箇所が見られたことから、崩落を防止するため、土留め構造物が必要となった。																
	16百万円の減	詳細検討の結果、既設水路を利用することとしたため、整備延長が減となった。																
農道工	167百万円の増	既設農道は、屈曲箇所が多く一部区間では崩落も発生していたことから、安全性の確保や表土の流出を防止するため、土留め、路側構造物が必要となった。																
区画整理工	155百万円の増	中野1工区について、2工区同様、担い手の新規参入や新たな作物栽培に適した区画形状を検討した結果、造成土量等が増となったため。																
合計	515百万円の増																	
	<p>(6) 評価項目【環境負荷等への配慮】 なし</p>																	
	<p>(7) 評価項目【コスト縮減の可能性】 なし</p>																	
	<p>(8) 評価項目【代替案立案の可能性】 なし</p>																	
	<p>(9) 所管部の今後の方針 継続（見直し）継続・その他（ ）</p> <p>（理由） 安定的な用水の確保や農作業の効率化、醸造用ぶどうの産地化など地域農業の活性化に不可欠な整備を行うものであることから、事業を継続し、令和8年度完了を目指す。</p>																	

○別表-進捗率（事業費ベース）

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100

単位：%

	年度	*H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	*R3	R4	R5	R6	R7	R8
現	計画	5.6%	13.3%	23.9%	36.7%	49.6%	62.9%	77.6%	89.5%	96.5%	99.0%	100%			
	実績	5.6%	9.1%	13.3%	22.7%	35.5%	51.0%	70.5%	84.6%	95.1%	97.6%	100%			
変更計画										69.9%	79.1%	88.4%	93.6%	98.7%	100%

*事業着手年度又は評価年度

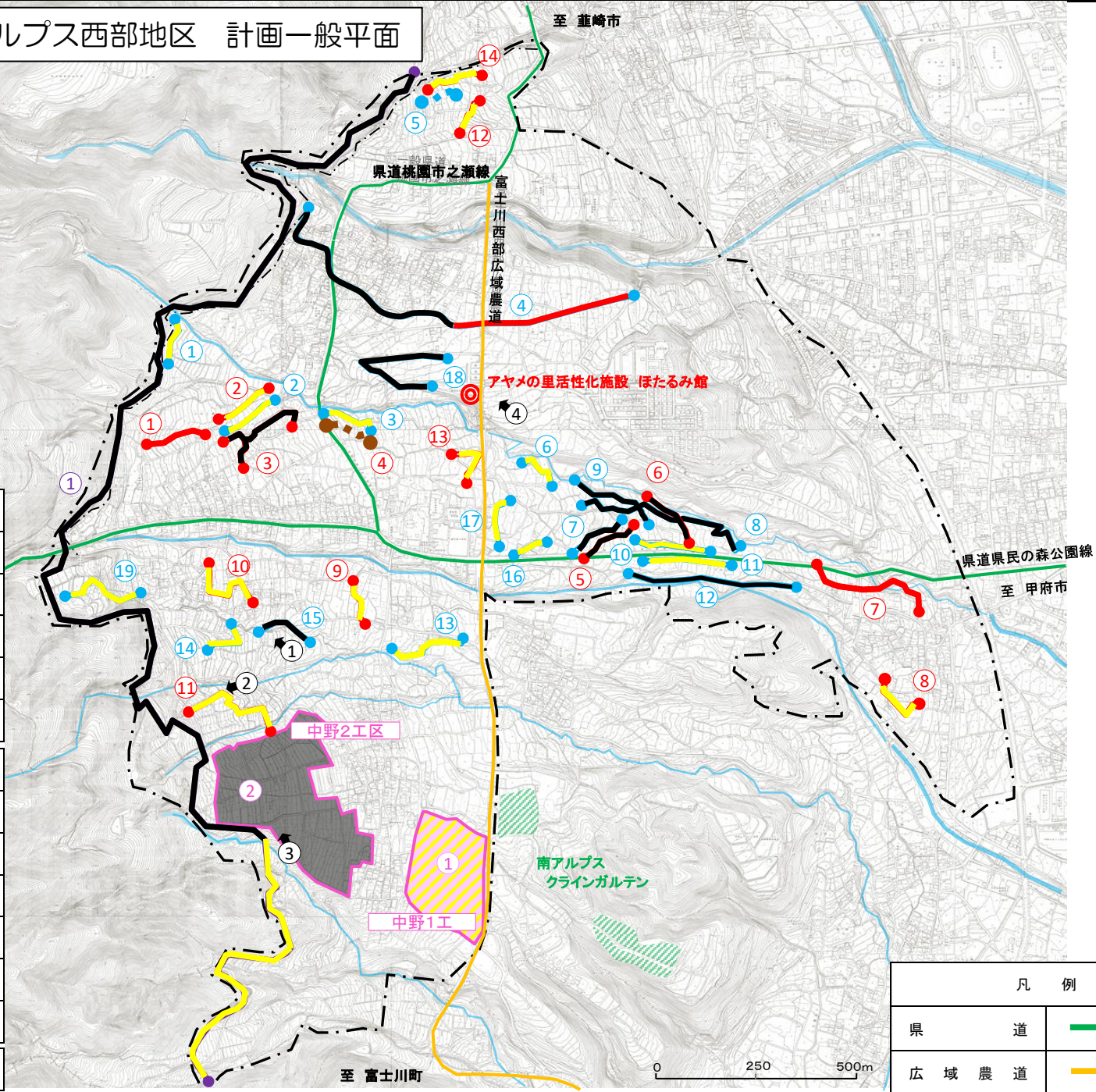
*R3年度の実績は見込み

3. 添付資料シート (1)

農地環境整備事業 南アルプス西部地区 計画一般平面



凡 例	
用排水路	①～⑯
農道	①～⑭
区画整理	①～②
鳥獣害防止施設	①
事業計画区域	
令和2年度まで	
令和3年度実施	
令和4年度以降	
廃止路線	
写真撮影方向	



凡 例	
県道	
広域農道	

3. 添付資料シート (2)

① 用排水路

整備前

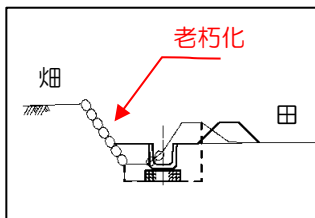


はらみ出し箇所

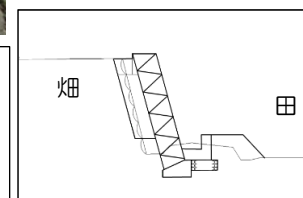
当初は、既設石積を活用した水路改修を計画していた。



整備後

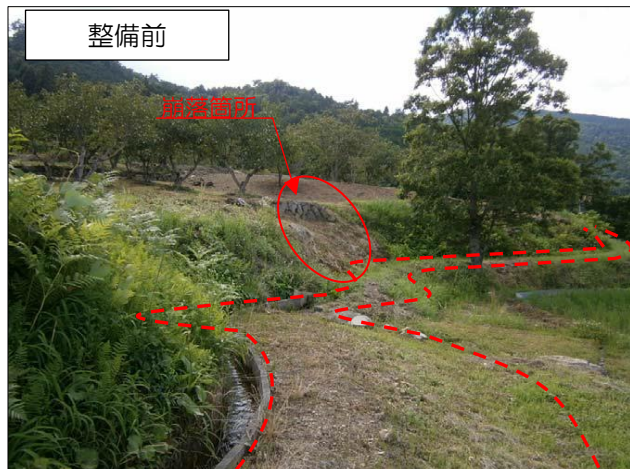


既設石積みにはらみ出し等の不安定箇所が見られたことから、崩落を防止するため土留め構造物を設置し、安全かつ安定的な用水確保が可能となった。



② 農道

整備前

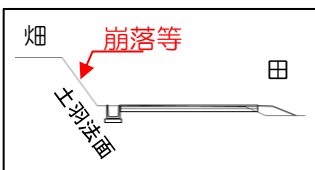


崩落箇所

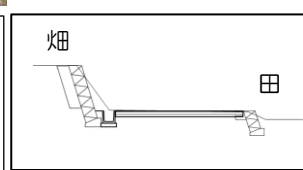
当初は、既設の土羽法面を活用した整備を計画していた。



整備後



既設農道は、幅員が狭く屈曲箇所も多く一部区間では崩落も発生していたことから、土留め構造物を設置し、安全性や走行性の良い線形とするとともに、表土の流出も防止された。



3. 添付資料シート (3)

③ 区画整理

当初計画

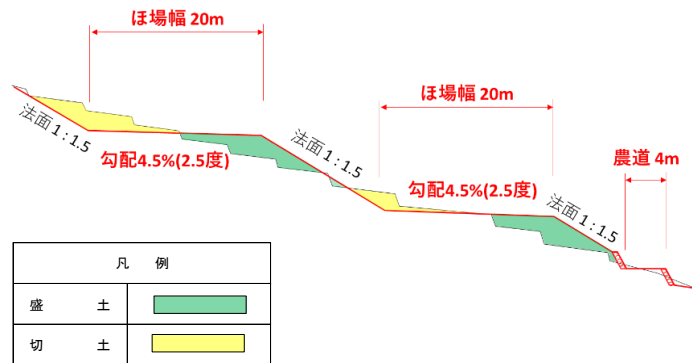
【標準横断面図】



計画の見直し

計画変更後

【標準横断面図】



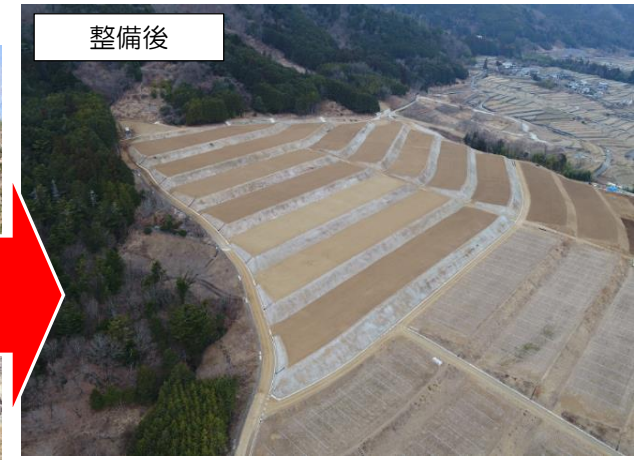
営農計画及び農作業の安全性を考慮し、ほ場の大区画化を行うとともに、ほ場勾配を緩やかに変更することで醸造用ぶどうに適したほ場に整備した。これに伴い切盛土量の見直しを行い、事業費の増額につながった。

整備前



1区画が狭く、勾配も急峻なため、機械による農作業が困難で作業効率も悪い。

整備後



大区画化したことで大型機械による作業が可能となり、作業効率の良い営農が行われている。

イメージ



整備済みの農地では新規参加者による醸造用ぶどう栽培が開始されており、収穫などの農繁期には地域雇用が見込まれる。

④ 地区内の農産物直売



地区内で収穫された野菜や果樹に加え、それらで作られた加工品は、農産物直売所でも販売され、地区の活性化につながっている。

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H25	80,000	測量設計 一式、鳥獣害防止柵 L=1,556m	4.1%
H26	50,000	用排水施設 L=336m 農道 L=144m	6.7%
H27	60,000	用排水施設 L=244m 農道 L=182m	9.8%
H28	133,000	用排水施設 L=326m 農道 L=326m 鳥獣害防止柵 L=1,695m	16.6%
H29	183,228	用排水施設 L=755m 農道 L=338m	26.1%
H30	220,000	用排水施設 L=188m 農道 L=31m 区画整理 A=3.2ha	37.4%
R1	279,000	用排水施設 L=320m 農道 L=57m 区画整理 A=10.5ha	51.8%
R2	200,000	用排水施設 L=608m、農道 L=127m 区画整理 A=0.3ha、鳥獣害防止柵 L=1,000m	62.1%
R3	150,000	用排水施設 L=737m 農道 L=386m	69.9%
R4	180,000	用排水施設 L=600m 農道 L=600m 鳥獣害防止柵 L=1,300m	79.1%
R5	180,000	用排水施設 L=526m 農道 L=464m 鳥獣害防止柵 L=1,089m	88.4%
R6	100,000	区画整理 A=3.0ha	93.6%
R7	100,000	区画整理 A=2.8ha	98.7%
R8	24,772	付帯工事 一式	100.0%
合計	1,940,000		